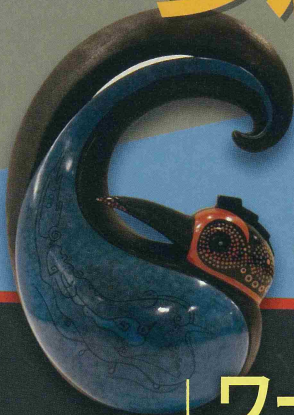


アーティスト・イン・レジデンスを視点として

信楽から世界を見る 世界から信楽を見る 参加者募集のご案内



MANENO JUAREZ
(ペルー)

日程

2015年

ワークショップ:8月中旬～9月中旬

シンポジウム:9月9日(水)～12日(土)

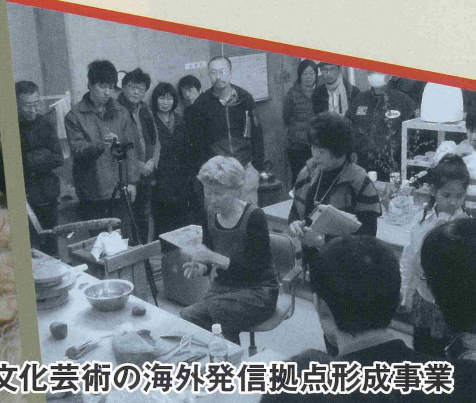
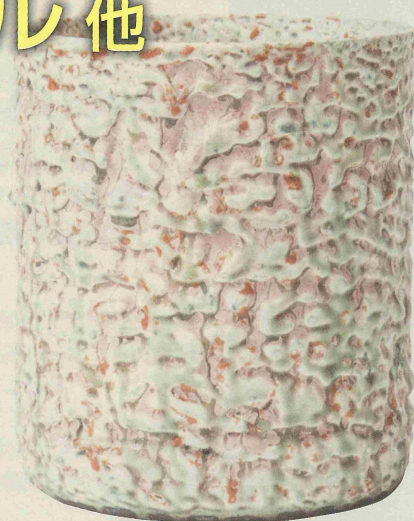
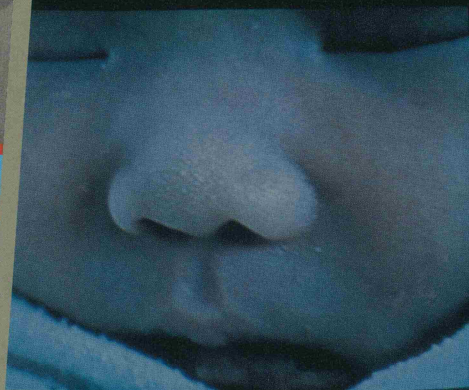
アーティスト・トーク:9月11日(金)

山村幸則ワークショップ

『信楽タイムトラベル』その他:9月12日(土)午前中

会場

信楽産業展示館ホール 他





滋賀県立陶芸の森は、伝統文化・産業である信楽焼の振興と世界の陶芸文化の発展への貢献を目的に、1990年に開設したやきもの文化の総合的な施設です。1992年から内外の作家が滞在して交流の中で創作活動を行うアーティスト・イン・レジデンス事業をはじめ、これまで49カ国延べ約1000人の陶芸家、美術関係者の滞在制作を受け入れてきました。

このアーティスト・イン・レジデンス事業をさらに発展させるために、今年度25周年をむかえるのをきっかけに、国際陶芸ワークショップ・シンポジウム「アーティスト・イン・レジデンスを視点として― 信楽から世界を見る 世界から信楽を見る」を開催します。

ワークショップでは、過去に陶芸の森にアーティスト・イン・レジデンスで滞在しており、その後の活動に実績がある作家を世界各地から同時期に招へいし、陶芸の森で1ヶ月に渡り制作を行います。完成した作品については、ギャラリーで展示をおこなう他、アーティスト・トークを開催し、制作者の立場で自らの国の現代陶芸を巡る状況について話してもらい、やきものをとおしての相互理解を深めたいと考えています。

シンポジウムでは、アーティスト・イン・レジデンス機関関係者とそこに滞在した陶芸の森レジデンスのOB、OGの双方向のレポートを聞くことで各国のレジデンスの現況を把握し、陶芸をテーマとする各国のレジデンスのグローバルなネットワーク化を進めたいと思います。

また、長い歴史をもつ信楽の地で、陶芸の森のレジデンス事業では、様々な作家が土を素材として制作に取り組んだ結果、土による表現の幅、可能性を広げてきました。工芸的な表現から現代美術としてのやきものまで、土の可能性は作家の求めるものによって広がります。それぞれの作家たちの土へのかかわりを聞くことで、やきものの可能性を考える、きっかけとしたいと思います。

9日から12日のシンポジウムには、日英の同時通訳が入ります。

参加申し込み方法等

定 員：200名

参加料：2,000円(9日～12日の参加費)

申し込み方法：参加申込書に必要な事項を記入の上、郵送、ファックス、メール等でお送りください。
複数人数の参加の場合は、参加者全員のお名前も記入ください。

●Eメール symposium2015@sccp.jp

●郵便 〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勅旨2188-7
滋賀県立陶芸の森 シンポジウム受付係 宛

●ファックス 0748-83-1193

●問い合わせ先 0748-83-0909

※プログラムの詳細、内容については、追加変更があります。

最新情報はホームページでご確認ください。

<http://www.sccp.jp/25years/index.html>

※宿泊については、各自お問い合わせください。

信楽町観光協会 <http://www.e-shigaraki.org/>

甲賀市観光協会 <http://www.koka-kanko.org/>



開催日程

ワークショップ:2015年8月中旬～9月中旬
シンポジウム:2015年9月9日(水)～12日(土)の4日間
アーティスト・トーク:2015年9月11日(金)
山村幸則ワークショップ『信楽タイムトラベル』その他:12日(土)午前中

開催場所

ワークショップ:滋賀県立陶芸の森 創作研修館 第2スタジオ
シンポジウム及びアーティスト・トーク:滋賀県立陶芸の森 甲賀市立信楽産業展示館ホール
作品展示:滋賀県立陶芸の森内ギャラリー

プログラム

ワークショップ

過去に陶芸の森にアーティスト・イン・レジデンスで滞在した陶芸家を世界各地から招へいし、陶芸の森で8月中旬から9月中旬にかけて約1ヶ月に渡り制作をおこない、やきものをとおしての相互理解を深めたいと考えています。

張 凌云(チャン・リンユン)(陶芸家、景德鎮陶磁大学校準教授・中華人民共和国)
林 美岡(イム・ミガン)(陶芸家、国立忠南大学教授・大韓民国)
ジョシュ・デ・ウィード(陶芸家、アーチャー・ブレイ・ファウンデーション前ディレクター・アメリカ)
ウーラ・リスラルド(陶芸家、オスロ芸術大学名誉教授・ノルウェー)
モートン・ロブナー・エスパーセン(陶芸家、デンマーク)
ビクトル・マヌエル・ラミレス(陶芸家・ペルー)
清水 匡子(陶芸家、ペルー在住)
山村 幸則(現代美術家・日本 兵庫県)
他

また、併せて以下の作家さんが創作研修館スタジオで制作しています。
アン・バニック(デンマーク)
スー・フレイザー(オーストラリア)
ルイス・フルトン(オーストラリア)
サラ・クロシェ(フランス)
陳 韋竹(チェン・ウェイチュ)(台湾)
ルシアン・デュビス(スイス)
アダム・バーナード(アメリカ)
矢部 俊一(日本 岡山・ゲスト・アーティスト)
今野 朋子(在インドネシア・ゲスト・アーティスト)
(個々の作家の滞在期間については、ホームページ等で確認願います。)

シンポジウム 第1部

～アーティスト・イン・レジデンスを視点として～
「信楽から世界を見る 世界から信楽を見る」

アーティスト・イン・レジデンス機関関係者とそこに滞在した陶芸の森レジデンスの陶芸家双方からのレポートを聞くことで各国のレジデンスの現況を把握します。また、陶芸をテーマとする各国のレジデンスのグローバルなネットワーク化を進めたいと思います。海外でやきものに取り組んでみたい方はこの機会をお見逃しなく。

出演者

ジャック・カウフマン(陶芸家、国際陶芸アカデミー会長・フランス)
ジョシュ・デ・ウィード(陶芸家、アーチャー・ブレイ・ファウンデーション前ディレクター・アメリカ)
ランティ・チャン(ヨーロッパ陶芸ワークセンターEKWC、オランダ)
ギム・スンテク(クレイアート・ギムハ・セラミック・ミュージアム キュレーター)
禹 寛壕(ウ・ガンホ)(陶芸家、弘益大学教授・大韓民国)
張 清淵(ツァン・チンユン)(陶芸家、台湾国立台南芸術大学教授・台湾)
ステュアート・ケステンバーム(アメリカ・クラフト・カウンシルディレクター・アメリカ)
ヴァリー・フォルム(アトリエ・ダール事務総長・フランス)
張 凌云(チャン・リンユン)(陶芸家、景德鎮陶磁大学校準教授・中華人民共和国)
林 美岡(イム・ミガン)(陶芸家、国立忠南大学教授・大韓民国)
他

シンポジウム 第2部

「信楽からやきものの可能性を考える」

陶芸の森のレジデンス事業では、様々な作家が土を素材として制作に取り組んだ結果、土による表現の幅、可能性を広げてきました。工芸的な表現から現代美術としてのやきものまで、土の可能性は作家の求めるものによって広がります。それぞれの作家たちの土へのかかわりを聞くことで、やきものの可能性を考える、きっかけとしたいと思います。

出演者

柳原 睦夫(陶芸家、大阪芸術大学名誉教授・日本 京都府)
イクメラ・レイコ(現代美術家、ベルリン芸術大学教授・ドイツ)
三輪 和彦(陶芸家・日本 山口県)
ウーラ・リスラルド(陶芸家、オスロ芸術大学名誉教授・ノルウェー)
神農 巖(陶芸家、日本工芸会正会員・日本 滋賀県)
周 武(ジョウ・ウー)(陶芸家、中国美術学院教授・中華人民共和国)
外館 和子(工芸評論家)
他

主催:公益財団法人滋賀県陶芸の森

後援:滋賀県、甲賀市、IAC国際陶芸アカデミー、公益社団法人日本陶磁協会、東洋陶磁学会、信楽陶器工業協同組合
信楽陶器卸商業協同組合、甲賀市商工会、信楽陶芸作家協会

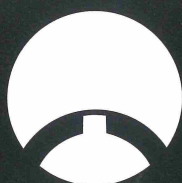
助成:文化庁(平成27年度 文化庁 文化芸術の海外発信拠点形成事業)、吉野石膏美術振興財団

信楽から世界を見る 世界から信楽を見る

参加申込用紙

フリガナ	
氏 名	
〒 住 所 都 道 府 県	
TEL	携帯電話
FAX	E-MAIL
参加予定日 ○を入れてください。	
☐	9月 9日(水) 記念式典・シンポジウム❶ 「信楽から世界を見る 世界から信楽を見る」
☐	9月10日(木) シンポジウム❷ 「信楽から やきものの可能性を考える」
☐	9月11日(金) 招へい作家によるアーティスト・トーク
☐	9月12日(土) 山村幸則氏によるワークショップ 午前中 「信楽タイムトラベル」
お弁当の手配が必要かどうかどちらかに○を入れてください。 1,000円(税込み) お茶付き ※9月10日(木)・11日(金)はシンポジウムが終日行われます。	
9月10日(木) ☐ 注文する・ ☐ 注文しない	9月11日(金) ☐ 注文する・ ☐ 注文しない
備考(複数参加の場合はこちらに参加者全員の氏名・弁当の有無を記入してください。)	

※個人情報は厳重かつ適正に管理をおこなった上で、当プロジェクト以外には使用いたしません。



滋賀県立

陶芸の森
The Shigaraki Ceramic
Cultural Park

〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勅旨2188-7
2188-7CHOKUSHI, SHIGARAKI-CHO, KOHKA-CITY, SHIGA, 529-1804 JAPAN
TEL.0748-83-0909 FAX.0748-83-1193
URL <http://www.sccp.jp/>